



さとやま

今月の見どころ

色付く里山



12月に入り、やっと里の木々も鮮やかに色づきました。ヤツデなど、この時期に花を咲かせる植物もありますが、様々な木の実、草の実がみられる季節です。センター前のクロガネモチも赤く実ります。

ビオトープ上の池の岸の頭上にはオレンジ色のツルウメモドキの実が見られます。さらに上の水溜り付近では孢子葉が花のように見えるシダ植物のフユノハナワラビも見逃せません。

田んぼの横の杉林や万燈山エリアでは、二股に分かれたテイカカズラの実から、パラシュート型の大きな種子が飛び出しあちこちに引っかかっています。足元には赤く輝くフユイチゴの実がたくさんみつかります。このイチゴは食べられます。

万燈山エリアの道沿いには、細長い葉をかき分けると、真っ赤なキチジョウソウや青いジャノヒゲの実を見つけることができます。



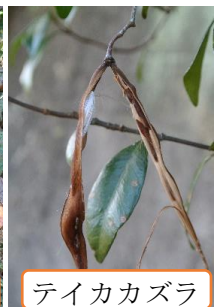
クロガネモチ



ツルウメモドキ



フユノハナワラビ



テイカカズラ



フユイチゴとテイカカズラの種子



キチジョウソウ



ジャノヒゲ

里の生き物紹介

冬に咲くヤツデの花

里のあちこちで見られるヤツデ、観察するといろいろ興味深い事実がみつかります。



ヤツデは晩秋から初冬にかけて、一番上に白いポンポンのような花をつけます。よく見ると、花茎に小さな花の集まりがいくつかついていることがわかります。

寒い時期には虫も少なく、受粉に不利なような気がしますが、こんな時期に花を咲かせる植物は少ないので、次もヤツデの花を訪れる場合が多く、受粉の確率が上がります。花粉を運ぶのは、越冬中のハエやアブが多いようです。



雄性期の花

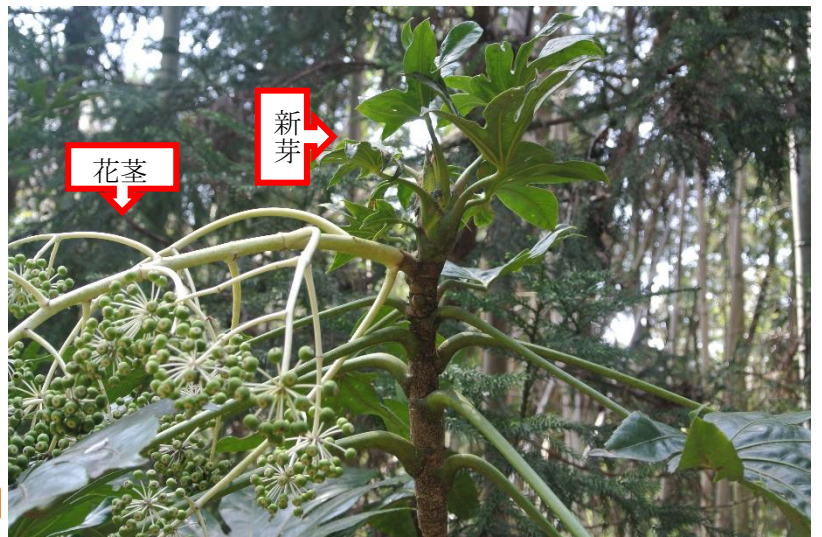


雌性期の花を訪れるアブのなかま

咲き始めは、花弁が星のように広がり、雄しべが発達し、花粉が出る雄性期、花弁を落とした後、雌しべの先が開く雌性期になります。こうして、自花受粉を避けています。花茎の下の方には、雄性期だけの集まりが少し遅れて咲きます。近くに他のヤツデがないときの保険でしょうか。



実



春になると、ウコギ科特有のベレー帽をかぶったような実が、黒く色付きます。その頃には、花茎が倒れて、わきから新芽が出て成長していきます。やがて、花茎はとれてしまいます。

ところで、ヤツデの葉は何枚に分かれているでしょう。



上の写真左は7枚、右は9枚、だいたいこのくらいが多く、ほとんどが奇数です。葉脈は必ず中心に1本、そして左右対称に出ますから、まず偶数はありません。それなのになぜヤツ(8つ)? 古来8は漢字で八、末広がり縁起がよいため、「八雲立つ」や「八百八町」など、「沢山」という意味を表すからとも言われています。

並んで生えている下の幼木、左はヤツデですが、右は違います。



これは同じウコギ科のカクレミノです。カクレミノは低木のヤツデと違い 5~10m程の高木に育ちます。幼木ときは葉が3枚かそれ以上に分かれています。大きく成長すると、上の方の葉は切れ込みがなくなっていき、色々な形の葉が混在します。ちなみに、カクレミノは初夏に花をつけます。

では右はどちらの幼木でしょう? 一見ヤツデのようですが、葉のふちにギザギザがないことや、上の方の葉の形から、カクレミノかもしれません。

2種類は同じような環境に生えていることが多いので、万燈山への山道にはどちらの幼木もたくさん生えています。どちらか考えながら歩くのも楽しいですね。



11月の行事紹介



講座「竹を切ろう」をにしお環境市民塾の方にご指導を仰ぎ、11月29日（日）に開催しました。

トンボの里にはたくさんの竹が生えるため、陽が当たるように竹を間引きました。

作業としては、竹の切り出し方向を決め、直角にノコギリを入れ、広い場所に引き出す。その後、邪魔な枝を太い鉄筋を使って落とし、適度な長さに切って運び出しました。ノコギリの作業は、とても手が疲れたけれど楽しかったです。

12月の行事予定

20日（日）	正月飾りをつくろう	20名	AM9:30～11:30	当園職員
--------	-----------	-----	--------------	------

◎内 容 ～ 竹で花器を手作りし、里山にある植物などを使って正月飾りを作ります。

1月の行事予定

17日（日）	お花炭を焼いてみよう	20名	AM9:30～11:30	山口 信夫
--------	------------	-----	--------------	-------

◎内 容 ～ 里山で色々な木の実などを採取し、缶に入れて炭焼きを体験します。

- ◆ 参加受付は、各講座の3週間前の午前8時30分から先着順で来園及び電話にて受付します。また、申込は本人、もしくはその家族までとします。
- ◆ 天候や少数（6名以下）などによる講座の中止、又は受講内容を変更する場合があります。
- ◆ 原則、参加費は無料ですが材料費などは実費を申し受けます。
- ◆ **コロナ禍の状況により講座を「中止」する場合があります。**

西尾いきものふれあいの里

- ◆ ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266
- ◆ 休 日 毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始 [12/28～1/4]
- ◆ 発 行 西尾市環境部 環境保全課